

一宮スポーツ推進委員だより



題字 一宮市長 中野正康 2026年3月 第29号
発行 一宮市スポーツ推進委員連絡協議会

一宮市ニュースポーツフェスティバル2025

10月13日(月・祝)いちい信金アリーナ(一宮市総合体育館)ほか

真夏の暑さがまだまだ残る10月13日(祝)一宮市ニュースポーツフェスティバル2025が行われました。今年も、屋外3種目、屋内は体力・運動能力調査を含めて8つの種目があり、650名もの参加がありました。毎年参加されている方、お知らせを見て初めて参加された方、公園を散歩中にフラッと立ち寄った方等参加の仕方は様々でしたが、最後には、みなさんスタンプカードを握りしめ、汗を拭き拭き笑顔で景品を受け取りに来てくれました。

まだまだ知らないスポーツが沢山あり、色々体験する事で、自分はどんなスポーツが好きなのか、やってみたいスポーツは何なのか、生活の中にほんの少しスポーツを取り入れてみようかな等と、考えるきっかけになったのなら、いい1日だったのではないかと思います。



室内ペタンク



ボッチャ



ラダーゲッター



ショートテニス



ドッジビー



パークゴルフ



クロリティ



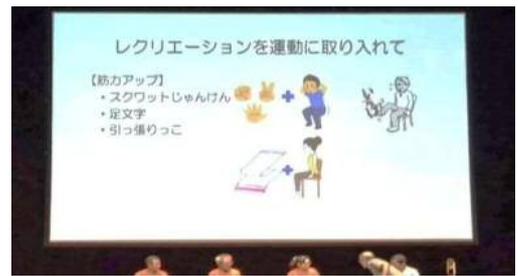
体力・運動能力調査



モルック

令和7年度 愛知県スポーツ推進委員研修会

9月6日(土)東海市芸術劇場



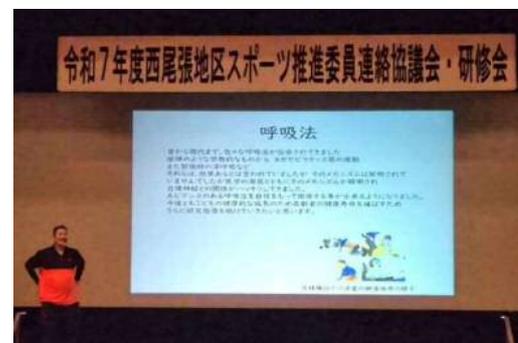
9月6日(土)東海市芸術劇場にて、スポーツ推進委員や市町村地域スポーツ担当者あわせて750名が参加する研修会が開催され、一宮市からも37名が参加しました。

今回は「スポーツ・レクリエーションの『楽しい』を『楽しみ』『楽しむ力』へ」と題し、上手孝徳先生と有志4名による実演を交えた講演は、笑顔あふれる雰囲気、会場中がスポーツの楽しさを体感できる時間となりました。紹介されたのは、幼児から高齢者まで誰でも気軽に取り組めるスポーツ。筋力アップやバランス感覚の向上だけでなく、自分の内側から湧き上がる「やってみよう」「楽しい」という気持ちを大切に、それを行動に移していくことの大切さが語られました。さらに、一人ひとりが“自分に合った最高の楽しみ方”を見つけ、それを継続できるように支援していく取り組みも紹介されました。

昨年、一宮市ニュースポーツフェスティバルに初めて参加した際、私自身もその魅力を実感しました。スポーツ推進委員として、より多くの方々に「また参加したい!」と思っていただけるよう、スポーツの楽しさを広めていきたいと思っております。

令和7年度 西尾張地区スポーツ推進委員研修会

10月25日(土) 甚目寺公民館



西尾張地区スポーツ推進委員の研修会は、あま市甚目寺公民館で行われ、柴田晃伺氏

による「正しい呼吸法とは」と題し、「呼吸法・ストレッチ・健康」についての講演でした。

呼吸をする時、鼻で息を4秒吸う、口で息を8秒吐く。ストレッチをする時、身体を伸ばしすぎず、ほぐす。健康を維持するには筋肉をつける事、その筋肉をほぐす事と話をいただき、大変勉強になりました。

色々な分野で研究が進む昨今、多くのスポーツ推進委員が研修会に参加し、より新しく確かな情報を得て、市民の皆様の健康づくりに努めてまいります。

15年表彰(8名)

小山陽子(開明)、清水美知(向山)、森千恵子(奥町)
四熊麻由美(木曾川町)、水野愛美(朝日)、河上芳輝(大志)
山内真知子(木曾川町)、恒川義弘(小信中島)

5年表彰(13名)

長谷川光彦(西成)、高田研二(萩原町)、鶴飼辰郎(向山)
野杵一弘(萩原町)、可知孝典(今伊勢町)、伊藤和枝(今伊勢町)
山岸満(今伊勢町)、加藤さよ子(萩原町)、近藤幸子(北方町)
丸尾智子(宮西)、桑原啓彰(三条)、溝口誠治(浅井町)
長谷川加寿美(浅井町)



第66回全国スポーツ推進委員研究協議会 長野大会

11月13日(木)・14日(金) ビックハットほか



「第66回全国スポーツ推進委員研究協議会」は11月13、14日に、長野市の「ビックハット」において開催されました。

大会テーマ「行こう！地域スポーツの頂へ」～日本のアルプス信州からスポーツのつながりを全国へ～を掲げ、歓迎アトラクションは高山アルプホルンクラブと 高校生のチアリーディングが行われ、盛り上がりました。

基調講演は「パリオリンピック柔道女子57kg級金メダリスト」の出口クリスタさんを迎え、演題「今日を生き抜くー普通の私がカナダ初の金メダルを掴むまで」で講演されました。

出口さんは3歳で柔道を始め、持ち前の負けず嫌いにより厳しい練習の毎日を過ごし、大学生の時「オリンピックで勝ちたい」と言うのが目標であることを再認識し「カナダ代表になる」と決意して、カナダ国籍を選びパリ五輪で金メダルを掴みました。

出口さんは金メダルを掴めた理由に三本柱を掲げています。

「緩急を付ける」練習と休息の緩急

「努力を重ねる」止めない事と、負けず嫌い

「運を掴む準備をする」心と体を常に準備段階にする。

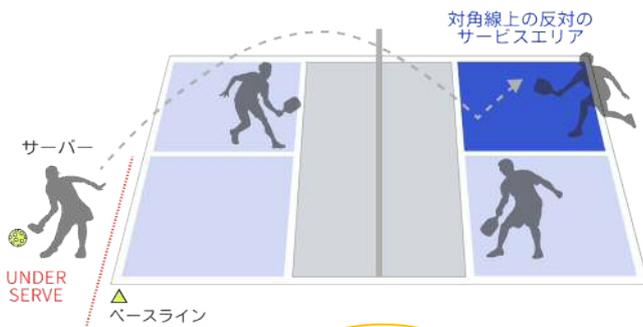
この三つは仕事にも勉強にも繋がると話されました。

我々スポーツ推進委員にも 当てはまる事だと思いますので参考にし、また、スポーツには人と人をつなぎ笑顔を生み出す力がある事を心に刻み、活動していきたいと思えます。

2日目は「新なるスポーツ環境を創るスポーツ資源の地域連携とスポーツ推進委員」をテーマに3つの地域の事例発表があり、各地域の特性を活かした取り組みを聴き大いに感動しました。中学生の部活動が今年から休日の活動は学校単位ではなく地域単位での活動になります。この動きにスポーツ推進委員がどのような形で連携していくのか考える必要を大きく感じました。



ニュースポーツ紹介 ピックルボール



特徴

サーブ

- ・アンダーサーブでベースラインの後ろから行います。
- ・サーブは対角線上の反対のサービスコートを狙います。

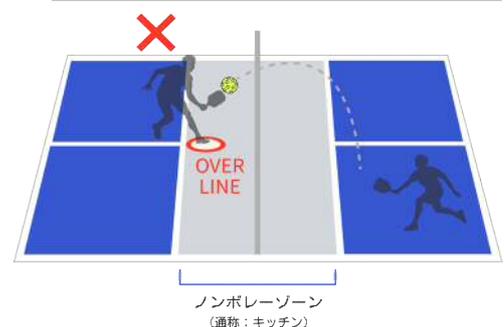
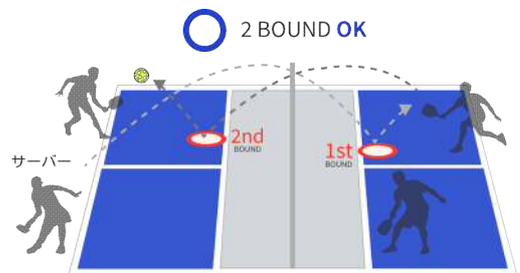
ツーバウンドルール

- ・サーバー(サーブを打つ側)は、相手のリターンを1回バウンドさせてから返球しなければなりません。
- ・テニスでいうサーブ&ボレー(ノーバウンドでの返球)をすることができません。サーブとリターンのバウンド後からは、ボレーをしてもOKです。

ノンボレールール

- ・ボレーをしてはいけないエリアがあります。
- ・ノンボレーゾーン(通称:キッチン)です。

ピックルボールは、テニス・バドミントン・卓球の要素を組み合わせたアメリカ発祥のニュースポーツで、バドミントンと同じサイズのコートで 穴あきプラスチックボールをパドル(板状ラケット)で打ち合います。緩すぎず激しすぎずのちょうど良い運動量、そして安全にプレイできるため、子どもからシニアまでみんなで楽しめます。



各地のスポーツ紹介

ぜひ見学に来てください！

『丹陽シニア&あずらアトミックス』 (丹陽町連区)

ソフトボールで「元気にプレーをしよう」をモットーに幅広い年代の方が活躍中です。多加木公園のグラウンドで練習しています。丹陽の他の8チームと年間を通じてリーグ戦を行い、地域として定期的に活動を継続し子どもから大人まで巻き込む連区スポーツの一翼として動いています。写真はあずらアトミックスチームとの試合の時のものです！一緒に楽しくプレーする仲間を大募集中です！

毎週土曜日 8時(冬期9時)～11時
多加木公園グラウンド



『浅井タスポニークラブ』 (浅井町連区)

タスポニーは、スポンジボールを素手で打ち合う、誰でも気軽に楽しめるニュースポーツです。毎週火曜日と土曜日の夜、浅井北小学校で、ワイワイ楽しく練習しています。年に2回の市民大会や、他地区との交流会、部内大会などあり、練習の活力にもなっています。とっても楽しいクラブです。一度、見学、体験しにいらしてください。

毎週火・土曜日 19時～21時
浅井北小学校屋内運動場



『北方ビーチボール』 (北方町連区)

私たちは毎週月曜日北方小学校で練習しています。現在メンバーは4人ですが他のクラブからの参加もあり10代から70代まで賑やかに活動しています。

ビーチボールはビニール製のボールで行う4人制バレーで痛みもなく誰でも気軽に楽しめるスポーツです。絶賛会員募集中！ぜひみなさん遊びに来てください！

毎週月曜日 19時～21時
北方小学校屋内運動場



『開明ペタンククラブ』 (開明連区)

20名ほどのメンバーが二組に分かれ、各グループは当日の出席状況に応じて、3人(基本)が1チームとなり、4チーム編成し2レーンで各2チーム対戦で競っています。目標球に向かって投げるラバー製のボールの調子もあり思い通りの所に届かず、その意外性が面白く、発足以来13年ほど経ちます。また地元のスポーツ推進委員さん主催の体験会や大会等にも参加させて頂き楽しんでます。

毎週火曜日(除第3) 9時～10時30分
毎週土曜日 13時～14時30分
開明公民館大会議室



● 編集後記 ●

毎年、1月のタワーパークマラソンの参加者インタビューが紙面を飾りますが、今年はありません。雪の為、大会が中止となったのです。この日に焦点を当てて、体調を整え練習を重ねた方も多かったと思いますが、来年また、是非挑戦して下さい。私達は来年も、皆さんが安心して参加出来るようサポートに全力を注ぐつもりです。様々な目標に向かって、諦めない1年であります様に。
(小信中島連区 小島 菜菜子)